

事業番号	事務事業名	生活交流グループ協議会補助金	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
02927	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農政係	担当者・シート作成者	釜本 遥平
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・鏡野町農村生活交流グループ協議会の活動に対する補助金を交付する事業。当協議会は、農村生活の健全な発展のため、研修会(年2回程度)を開催している。 ・業務手順は、①補助金交付申請書の受理、②交付決定通知、③実績報告書の受理、④確定通知、⑤請求書の受理、⑥補助金の支払である。	・平成17年12月12日、町内の生活交流グループが集まり、協議会を設置した。 ・現在の構成グループ数は3グループ。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 鏡野町農村生活交流グループ協議会 →	ア 構成グループ数	グループ	見込 実績	4 4	4 4	3 3	3 3	3 3
イ →	イ		見込 実績					
ウ →	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 農村生活の健全な発展のためのグループ活動の強化 →	ア 構成員数	人	目標 実績 達成率	32 32 100.0%	32 32 100.0%	32 20 62.5%	20 20	20 100.0%
イ →	イ 研修会の開催	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 0 0.0%	2 2	2 0.0%
ウ →	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 補助金等実績報告書の受理・審査 →	ア 実績報告書の受理・審査件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1	1 100.0%
イ 補助金の支払い →	イ 補助金の支払件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1	1 100.0%
ウ →	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 06 農林水産業費	項 01 農業費	目 03 農業振興費	大事業 24 中事業 08	予算上の事業名	生活交流グループ協議会補助金	事業番号	02927						
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	80	70	70	70	70		一般財源	70	70	70	70	70			
合計	80	70	70	70	70		合計(A)	70	70	70	70	70	0		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						8	8	8	8	8	8			
	人件費計(千円)(B)						27	28	27	27	27	27	-1		
最終予算額		70千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		97	98	97	97	97	-1
主な支出事業内容(予算)	補助金						70千円								
	主な支出事業内容(決算)						補助金						70千円		

事業番号	02927	事務事業名	生活交流グループ協議会補助金	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	----------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか? 協議会は平成17年に7グループで創設され、平成19年には10グループとなったが、その後3グループが会員数の減少で1グループに統合となり、さらに4グループが活動停止により脱会し、平成22年から5グループとなり、平成28年、令和元年に1グループずつ脱会して3グループになり今に至っている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 バラエティに富んだ研修会を企画し、積極的に研修機会や交流の場を設けるよう努めている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 各グループからは、研修会の経費に充てることができ感謝されている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	農村生活の健全な発展のためのグループ活動の強化は、産地間競争力の確保に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	グループ活動は、6次産業化、地産地消、食育への取り組みが主体であり、今後、町としても推進していく必要があることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	各グループとも地域の特色を生かし、活発な活動を行っており、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	各グループとも地域の特色を生かし、活発な活動を行っているが、さらにグループ相互の情報交換と研修会の開催を活発化すれば、一層の成果向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	構成員に負担を強いることになり、協議会活動の縮小を招くおそれがある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	限られた予算の中で、新たな方法・手段に切り替えていくのは、困難である。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	農村女性による唯一の生活交流組織であり、支援をしていかなければならない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最小限の業務時間であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	会員も会費や負担金を負担して、活動を行っている。協議会活動のための助成であり、公平・公正なものとする。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	各グループとも、高齢化等により、構成員が減少してきている。後継者の確保を図る必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 積極的に研修機会や交流の場をもうけることで、参加者数を増やし、活動参加者間で生産技術の交換や伝承を進め、後継者の育成を図る。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
楽しく収益も上がる活動を目指し、若い世代の参加も推進する。地域の農林水産物を利用した商品の開発、加工施設の整備等を図る。																									